

第1章 交通需要推計の目的と今回推計における新たな視点

1-1 交通需要推計の目的と推計手順

(1) 交通需要推計の目的

交通需要推計の目的は、第1に道路のネットワークや構造を決定するものである。具体的には、推計された路線別の交通量に基づいて、道路計画におけるネットワーク、必要車線数、幾何構造等の構造規格を決定するものである。第2に道路計画によるサービスや採算性等を評価するためのものである。具体的には、有料道路の償還計画（収入の基本となる利用交通量の推計）環境アセスメント（影響予測の基本となる計画交通量の推計）評価システム（費用便益比（B/C）など個別事業評価の基礎データ、アウトカム指標など政策評価の基礎データ）等に活用される。

(2) 交通需要推計の手順

交通需要推計は、はじめに、全国の将来人口、GDP等の社会経済状況より、全国の将来交通需要である走行台キロが推計される。次に全国の将来交通需要に基づいて、地域ブロック別の将来交通需要（走行台キロ）が推計され、地域ブロック別の総生成交通量の推計、ゾーン別発生・集中交通量の推計を経て、ゾーン間の将来OD表が推計される。さらに、この将来OD表と将来道路ネットワークより各路線別の交通量が推計される。

本資料では、上記の将来交通需要推計のうち、全国の将来交通需要である自動車走行台キロの推計方法と推計結果についてとりまとめている。

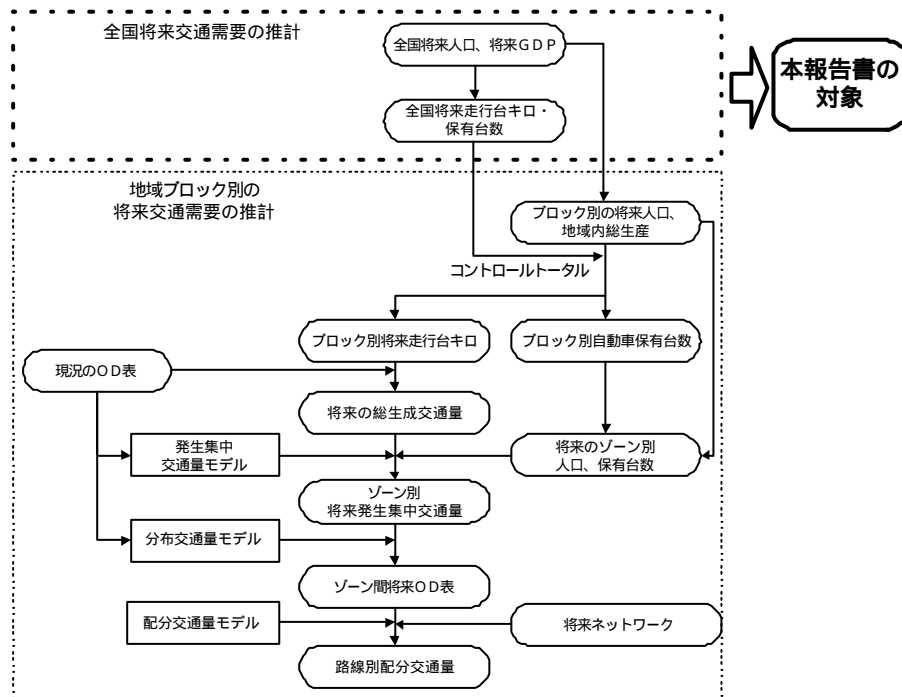


図 道路計画における将来交通需要推計の手順